平成 25 年度 第 4 回 静岡県作業療法士会 理事会議事録 （平成 25 年 10 月 19 日）

参加者：秋山,梶原,三井,勝又,岡庭,大庭,村岡,稲葉,齊藤,小林（理事：10 名）,熊谷顧問,谷川監事,
［高岡、小坂、武内(議事)］
場　所：静岡県作業療法士会　事務所（静岡）13:00～
※【平成 25 年度　第 4 回理事会資料】＜別紙資料＞に順じて進行

【報告･確認事項】

1. 第 27 回静岡県 OT 学会　進捗状況について
 ･実施要綱、予算案、趣意書作成（詳細は別紙参照）
 ･公開講座：智内威雄氏（テーマ：「（仮）左手のピアニスト」 講演･演奏　予算 10 万円程度
 ･予算案：学会準備金 60 万円のうち 20 万円は会場前払い金として出している。
  ⇒支出「県士会への返金 20 万円」の修正。
  ⇒その他準備金 40 万円は予算立てしているため、残金を返金する形で良い。
 ･一般演題：10 月 21 日より募集開始（目標 50 演題）
2. 平成 25 年度県士会役員体制について（詳細は別紙参照）
 ･第 3 回理事会議事録からの変更：①制度対策部部長　大川和則氏
  ②齊藤洋平理事：福利部担当理事、訪問リハ連絡委員会担当理事
  ③訪問リハ連絡委員会委員長：岡本曜祐氏
3. 県士会役員の名刺作成について：作成済み
4. 医師会決起大会：11 月 14 日（木）18：00～19：30　医師会館（秋山会長、勝又理事出席）

【検討･審議事項】

1. 地域包括ケアシステム合同会議（9／23）
 ※次回会議までに各士会で検討してくる課題
 1)「地域ケア会議」へ派遣する人選要件案の提示 （POS 各士会にて作成）
  ⇒経験年数原則10年以上、県士会が主催する地域ケア会議受講済み.
  （要件を満たす会員のリスト作成）
 2)地区（圏域）ごとの会員数･人員把握：行政へ情報を提出するために，派遣できる会員の人員把握を行う
  ⇒意向調査で手が上がらなかった場合の対応として行う.
 3)療法士としての職能･専門性の提示：行政へ提出する要望書として，各療法士で何ができるのかを示す.
  ⇒岩井理事案にプラスして　認知症に対する専門職、「医学･医療」や「日常生活･趣味･QOL」などの文言の追加、協会パンフレットを参照してはどうか　などの意見があり今後メールにて詰めていく.
 4)意向調査票･アンケート内容の検討
  地域ケア会議とは何かを提示した上で，会員に対し地域ケア会議への派遣業務についての意向調査実施
  ⇒調査部と連携し次号 OT しずおかにアンケートを同封する.
 5)次回地域包括ケアシステム合同会議：平成25年11月 10 日（日）
 6)予算について：岩井理事：地域活動推進部、梶原副会長：制度対策部より補正予算を出していく.
2. 県士会の休会制度について（制度の詳細は別紙参照）
 ･協会に足並みを揃えるため、県士会でも休会制度を設ける.
 ･来年度の総会にて承認を受けてからの施行となる.
 ･県士会の休会制度の要綱を作成⇒事務局にて作成
3. 県士会バッジ作製の件
 ･型代（￥39,600）含め、30 個で単価￥3,234、100 個で￥1,853、300 個で￥672
 ･寄付という名目で作成費を集め、会員にも販売できるようにすれば問題ないのでは.
  ⇒次年度の作製に向け,次回理事会にて懸案事項として挙げる.
4. 静岡県作業療法士連盟の設立について
 ･熊谷顧問に連盟の情報を定期的にご報告いただく.
5. 事務局員増員の件
 ･財務部と打ち合わせを行い、勤務形態を決めて行く
  ⇒月〆で会計処理を行っていくべきである. まずはリストアップするなど業務の洗い出しを行ってはどうか.
 ･前事務局長高原氏より事務局員の紹介がある.
  ⇒個人との雇用契約について、方法や事務手続きの大変さはどうか事務局にて確認し秋山会長へ報告

【各部報告】

1. 財務部(岡田理事):特記事項なし

・各部局への支払いについて:11/2までに返金できるように対応していく(熊谷顧問)⇒未払いリスト作成

2. 学術部(三井副会長)

1)平成25年度　学術部方針および組織図(別紙参照)

2)研修会参加時の会員カード提示について

事前のインフォメーションにより,会員カードの提示および県士会シール貼付状況は良好であった.

1名のみ県士会シールを紛失した会員がいた.県士会シールを紛失した会員への対応を確認したい.

⇒2 年間は経過措置とするが,それ以降は再発行手数料をとる。当面は、学術部より直接渡す方法と県士会HPより再発行申請書をダウンロードし,事務局へ申請し次第渡す方法で行う.

3)学術部アンケートについて

・全会員を対象とした学術部アンケート案(別紙参照)を作成.

・実施要項については調査部と連携し検討したい. ⇒メールで検討していく.

4)県士会ホームページへの掲載について

・学術部が管理をする研修会のインフォメーションは,学術部にて県士会ホームページ,イベント案内に掲載をしているが,地区理事でも同じ案内を掲載されるため重複している事がある.閲覧者が混乱する可能性もあるため,他部署でのホームページ掲載は遠慮していただきたい.

⇒携帯電話への配信なども考慮した方法ではあるが、理事会で審議してから進めていただくこととする.

⇒地区メールについては,東部・中部・西部で統一して行ってはどうか.

3. 教育部:(村岡理事)

【報告事項】

1)現職者選択研修(精神分野)の開催報告

開催日:平成25年9月1日(日)、会場:三島商工会議所大会議室、参加費:4000円、受講者:56名

テーマ1「精神障害作業療法の基礎知識」　講師:新宮尚人 氏(聖隷クリストファー大学)

テーマ2「 精神障害作業療法の展開方法」　講師:山本晃弘 氏(溝口病院)

テーマ3「 精神障害作業療法の実践 」　講師:椿昌子氏(新清水クリニック)

テーマ4「精神障害作業療法関連のトピックス」　講師:飯田 妙子氏(浜松医科大学医学部付属病院 精神科神経科)

2)平成25年度生涯教育制度推進担当者会議への出席

・日時:10月5日(土)12:30～16:30 、 会場:ハロー会議室秋葉原Ⅱ

・生涯教育制度の現状報告

静岡県:認定作業療法士- 28名(取得率2.0%:全国6位)Top:石川 Worst:高知

基礎研修修了者-127名(取得率9.1%:全国8位)Top:富山 Worst:埼玉

・今後の現職者研修運営について:研修講師は基礎研修修了者のみ対象

・生涯教育受講登録システムについて(登録責任者:村岡理事,白石部長)

目的:受講者名簿の保存が不要となり、各会員もHP上での確認が可能となる。

・認定作業療法士制度について

＜新規取得＞資格認定試験(共通:10問100点、選択:5問100点)を実施。受験料:5,000円
60%以上の得点を得たものに合格証を発行する。受験資格は無期限とする。

＜更新＞今年度より「申請時において、過去5年間に各要件25認定OTポイント(np)以上を満たし、かつ<u>100np以上</u>を満たしていること」に変更された。
資格更新審査料および登録料:5,000円(2015.3.31までは無料)

＜その他＞講師謝金支払基準の講師基準はBランクとする。
WFOT認定養成校には1名以上勤務していること。
英文表記【Authorized Occupational Therapist】

・専門作業療法士制度について

現在7分野:「福祉用具」・「認知症」・「手外科」「特別支援教育」「高次脳機能障害」・「精神科急性期」・「摂食嚥下」

改定の概要:資格認定審査(年1回:2月)の実施。

・基礎研修制度改定について

「生活行為向上マネジメント」の紹介 → 「1.生涯教育概論」内で協会の事業として紹介

「臨床実習指導者研修」の導入→養成教育委員会発案の「臨床実習指導者研修システム：初級」を
現職者共通研修の一部に包含。
「2.作業療法における協業・後輩育成」
Keywords：学生気質・レディネス・コミュニケーション・対人関係
「3.職業倫理」⇒来年度は秋山会長担当
Keywords：ハラスメント・リスク管理

「10　事例報告」の機会拡張→SIG および病院等の事例報告会発表の場合　認定のための 3 条件
① 適正を各士会が認めたこと
② 学術部事例報告登録制度の書式を用いること
③ 認定作業療法士が指導していること

現職者共通研修修了者へ基礎ポイントを一律 20 ポイント付与→経験年数に関係なく初めての申請時には 20 ポイント付与する。

基礎ポイント直近 5 年の期限廃止→ポイントは廃止されないが、更新は 5 年ごとに必要となる。

3)事例報告会の開催：西部地区（浜松）：10 月 23 日（水）19:00～21:00
東部地区（三島）：10 月 27 日（日）12:00～16:00

4. 広報部（稲葉理事）

・OTしずおか 111 号編集中　発刊は 11 月中。
・ホームページについて：前回の理事会で提案したHPサーバー（練習用、テスト用）をレンタル予定.
・リーフレットについて：現在、担当者間（大石、西川、伊海）で構成作業中. 10 月末に原案完成予定.
・ゆるキャラについて
現在募集中（1 通の応募）,今後さらに広報誌等で呼びかけを行う（※募集期間は 12 月 20 日まで）
・その他：漫画の版権に関してティ・ケープリントと交渉中

【検討事項】
選ばれたゆるキャラの作成者への謝礼（QUOカードや商品券、図書券）は出しても良いか？
⇒承認. 広報部予算で行う.

5. 渉外部（秋山会長）

・9 月 16 日 ：静岡県 3 士会会長の顔合わせ（静岡市 PT 県士会事務局）
・10 月 4 日 ：PT 全国研修会開会式来賓（浜松市）

【予定】
・10 月 27 日 ：東部地区タウンミーティング（三島市）
・11 月 2 日 ：東海北陸学会開会式来賓（富山市）
・11 月 4 日 ：静岡県介護福祉士会記念式典来賓（静岡市）
・11 月 14 日 ：医師会決起大会（静岡市）
・11 月 24 日 ：愛知県作業療法士会法人 30 周年・法人化記念式典（名古屋）未定

6. 福利部（齊藤理事）

1）福利部部員：佐藤　圭佑氏（神経科浜松病院）
佐藤　佑輔氏（静岡リハビリテーション病院）
⇒委嘱状の作成と送付をお願いいたします。

2）第2回静岡 OT リーダー研修会開催について
昨年度3月に開催した第1回の研修会に引き続き、今年度も第2回の企画開催を検討。尚,以下の方たちには福利部部委員に加え運営委員として今回も協力を依頼、了承を得る。
⇒岡庭理事,稲葉理事,大庭理事,大石部長、武内氏
①日程：3月1、2日（土、日）で決定
②内容：特別講義－大石部長に依頼、了承を得る。内容はマネジメントについて（仮）。
他、「県士会の展望」秋山会長,「管理者としての立場からリーダーへ求めるもの（仮）」
「モラルと責任について（仮）」など　検討中
③会場：伊豆長岡　おおとり荘　又は　山喜旅館（前回開催地）

7. 事業部（建木理事）

1）高校生施設見学の報告：参加施設 37 施設　106 名の参加（詳細は、マップ参照）
静岡医療福祉センター児童部のリハビリ説明会に協力を得られ,パンフレット等配布（66 名参加）
2）ふれあい広場：11 月 3 日（日）　浜名湖ガーデンパーク
10 月 30 日　各養成校学生と OT にて準備（聖隷ｸﾘｽﾄﾌｧｰ大学 19：00～）OT 及び学生を募集中.

3)第 9 回公開講座(詳細はチラシ参照)
・11 月 24 日(日) 吉田町 公共学習ホール
・講師:太田裕介 氏(おおとみリウマチ整形外科)焼津の体操教室中心人物
4)OT 体験デー:12 月1日(日) イオンタウン富士南にて実施
・自助具体験,作業活動等を展開予定. 並行して,作業療法の説明,パンフレットの配布等を予定.

8. 調査部(大庭理事)

・「行政機関および他団体等に対する静岡県作業療法士会会員の派遣・協力などの活動状況」に関する調査のアンケート実施
⇒地域ケア会議に対する協力の意思確認も同時に行う⇒梶原副会長,大庭理事,大川制度対策部長で検討し理事メーリングで相談していく. 11 月発行の OT しずおかに同封.

9. 制度対策部(梶原副会長)

・制度対策部長:大川氏
・医療保険及び介護保険委員会の委員は未定(大川部長に人選依頼)
・保健福祉委員会:生田氏
⇒人選について理事からも推薦者をお願いします.
・今年度中に地域ケア会議研修会の開催

10. 地域活動推進部(岩井理事)

1)部の役割:協会・県士会の活動を推進すること.
2)地区割り:東・中・西部の 3 地区割りから、2 次保健医療圏域の 8 地区割りへ変更する.
①賀茂(6 地区)②熱海伊東(2 地区)③駿東田方(10 地区)④富士(2 地区)
⑤静岡(2 地区)⑥志太榛原(5 地区)⑦中東遠(6 地区)⑧西部(3 地区)
今年度中に担当者を決定したい.
理事を含めるか否か方針検討していただきたい.
3)組織体制:
・担当理事兼部長(1 名)→圏域代表(8 名)→市町村代表(36 名)→所属施設代表(施設数)
・来年度圏域代表者研修会を開催したい. また、8圏域毎に市町村代表者会議を開催したい.
⇒承認
4)活動内容:毎年組織体制名簿作成, 連絡網の整備, 協会・士会活動推進圏域代表者・市町村代表者・所属施設代表者研修会開催, 県・市町村への具体的な対応を協議して実行, 委員等の派遣。

●東部(岩井理事)

・地区代表者会議:平成 25 年 10 月 27 日(日)教育部事例報告会の前 11:00～に変更.
・タウンミーティング兼懇親会:平成 25 年 10 月 27 日(日)事例報告会後 17:00～(三島市内).

●中部(勝又理事)

1)第 2 回中部地区勉強会
・日時:9 月 28 日(土) あざれあ(参加者:16 名)
・テーマ:「自宅での活動量の少ない方に対するアプローチ方法の検討」(担当:城西神経内科クリニック)
・スタイル:ディスカッション形式

●西部(稲葉理事)

1)第 2 回西部地区勉強会
・日時:9 月 25 日(水) 聖隷クリストファー大学(参加者:24 名)
・内容: Ⅰ部 19:00～19:20「生活行為向上マネジメント研究の紹介」
講師:市立御前崎総合病院 尾崎勝彦
Ⅱ部 19:20～20:30 地域 OT 連携を考える
2)第 3 回西部地区勉強会
・日時:11 月 27 日(水) 聖隷クリストファー大学
・内容:介護保険制度以外での在宅支援の在り方-障害者総合支援法利用までの流れ-(仮)
・講師:浜松市障害福祉課

11. 都道府県連絡協議会(岡庭理事)

・3月8日(土)～9日(日)東海北陸リーダー研修会(愛知県)詳細は不明
参加者:建木理事、鈴木部長、白石部長、清水部長、大川部長に依頼.
・東海北陸支部会:11月2日東海北陸学会会期中に開催(岡庭理事出席)

12. 災害対策委員会（村岡理事）

【審議事項】

1）役員向けの災害対策研修会（実践編）開催を検討

県士会の災害対策事業運営のためのより実践的な内容を研修する場を 3 士会合同で企画している. 本年度の事業計画としてあげていないが,予算を計上することは可能かどうかご審議いただきたい.

⇒予算の関係もありできれば来年度の開催が望ましい.次回の運営員会にて報告.

【報告事項】

1）第 2 回静岡災害リハビリテーション研修会

・日　時：平成 26 年 3 月 16 日（日）10:30～16:00

・会　場：静岡労政会館

・テーマ：災害時のより良い連携を目指して-しずおかの現在を知り、考え、そしてつながる-

・内　容：特別講演「静岡県第 4 次地震被害想定について」

グループワーク「防災クロスロードゲーム」

震災映画上映「逃げ遅れる人々」「命のことづけ」（資料添付）

※秋山会長へ,特別講演（10:30～）の座長をお願いしたい⇒了解

次回実行委員会：平成 25 年 11 月 12 日（火）19 時～　甲賀病院 ST 室

2）災害時連絡システム　登録者数：209 名

3）災害対策委員会　打ち合わせ会　実施予定

・日　時：平成 25 年 10 月 22 日（火）13：00～

・会　場：常葉大学浜松キャンパス

・内　容：災害連絡システムについて、静岡災害リハ研修会運営について

・出席者：村岡(常葉大学)、那須(中伊豆リハセンター)

13. 法人化推進委員会（勝又理事）

1）進捗状況

9 月 22 日　電子申請開始申込み

ログインID：ShizuokaOT

PW：sagyoushizuoka

10 月 9 日　登記事項証明書取得

10 月 21 日　申込書及び登記証明書を郵送（経営管理部総務局法務文書課（担当者：増田氏）宛て）

2)今後の予定

①経営管理部総務局法務文書課に提出②申請書類入手③当該停止条件付定款は次総会までに作成④当該停止条件付定款の総会での承認⑤申請書類作成⑥正式申請⑦移行登記

平成 27 年 4 月に公益法人化を目指す.

3）その他

・内閣府主催研修会参加希望（11 月 7 日　東京都港区虎ノ門にて）　⇒勝又理事・小林理事参加

14. 表彰委員会（秋山会長）

・OT 協会表彰：9 月に OT 協会表彰委員会より連絡あり。来年度より表彰規定を変更予定.

10 月 19 日（本日）OT 協会理事会での承認を受けて、各士会に新規表彰規定の候補者の推薦を依頼する予定とのこと.

15. 訪問リハビリテーション連絡委員会（三井理事）

【報告および確認事項】

1）平成 25 年度静岡県訪問リハビリテーション連絡委員会のメンバー

窓口：岡本曜祐氏（NTT 東日本伊豆病院）→委員長としたい. ⇒承認（公文書の必要性の確認）

ピリ睦氏（ケアーズ沼津訪問リハビリテーション）⇒依頼確認

アドバイザー：神藤理美子（介護老人保健施設あすなろ）

2）静岡県訪問リハビリテーション連絡委員会の位置づけ

平成 23 年度までは学術部にて担ってきたが, 平成 24 年度からは学術部から離れ, 連絡委員会として活動を行った. 今年度も昨年度と同様の活動を行っていく方向で良いか.

⇒承認. 訪問リハ連絡委員会として予算を組む.

3）担当理事の有無および確認

今後の活動を行っていく上で, 担当理事は選任されるのか. ⇒齊藤理事が兼任.

16. 事務局（小林事務局長）

1）報告事項

※後援依頼等、県士会への依頼について

・第 18 回静岡県理学療法士学会　後援依頼⇒後援名義使用承諾回答

・全国 LD 親の会　サポートツール全国キャラバン 2013 教材教具研修会　後援依頼⇒後援名義使用承諾回答

・第 13 回東海北陸作業療法士学会口述発表（一般身障分野）座長⇒勝又理事

・認知症ケアのこころを考える公開研修会　後援依頼⇒後援名義使用承諾回答

※案内・お知らせ等について

・都道府県士会ニュース（随時）

・他団体ニュース・広報誌（随時）

※会費納入状況：平成 25 年度会費納入者 811 名　　未納者 480 名　（10 月 2 日時点）
期日までの納入者数：会員の 60％

・12 月に督促状（3 月末までに納入しないと退会になる）．広報誌・HP にてアナウンスしている．

※会員管理システムの研修会　8 月 24－25 日協会にて．小林事務局長．

・会員システムでできること　→資格取得年数別、性別、支部別にて検索可能（別紙参照）

#　統計調査は会費納入者のみから抽出されるようになっているので，今のところ調査は 3 月 31 日時点で行うしかない．

2）確認依頼事項

・財務部へ→会費納入の領収書の送付先を事務局に変更をお願いします。

3）検討事項

・県士会社章作成について：前項参照

・会費納入関連

リコーリースのコンビニ振替→　①引き落とし　・現状年間経費は、約 28,000 円。
・会費納入率は　約 60 ％弱
・督促状に係る経費　48,000 円
※合計必要経費　￥76,000 円

②コンビニ払い　・リコーリース　請求書作成までの経費　174,000 円
・請求書の送付について
（最安は県士会費広報誌同封・封筒印刷へは 8,000 円）
・会費納入率　上がると予測
・督促状に係る経費　10,000 円以内と予測
※合計必要経費　￥182,000 以上

※リコーリースのコンビニ払いを利用してコンビニ払いの仕組みを作りたい．

⇒承認．来年度より開始できるように早めに会員にもアナウンスする．

・事務局員の増員について：前項参照

・会計，財務部との業務調整：事務局での業務役割分担…打ち合わせ 11 月中に検討．日程調整．

17. その他：

・第 5 回理事会日程：12 月 14 日（土）に決定（理事会に合わせ部長会も開催）

11:00～部長会

12:30～理事会

18:30～忘年会